

船舶事故調査報告書

令和元年9月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）
委員 田村 兼吉
委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成31年4月29日 15時10分ごろ～15時25分ごろの間）
発生場所	福井県福井港福井区西方沖 福井南防波堤灯台から真方位252° 1.9海里（M）付近 （概位 北緯36° 11.7′ 東経136° 04.5′）
事故の概要	プレジャーボート ^{トリアンフ} Triumph2は、船長が落水して溺死した。
事故調査の経過	令和元年5月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート Triumph2、0.5トン 294-24772福井、個人所有 3.87m（Lr）×1.85m×0.79m、FRP ガソリン機関、36.8kW、平成25年2月
乗組員等に関する情報	船長 男性 39歳 一級小型船舶操縦士 免許登録日 平成29年12月6日 免許証交付日 平成29年12月6日 （令和4年12月5日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 4、視界 良好 海象：波高 約0.5～1m、水温 約14℃
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣りをを行う目的で、平成31年4月29日05時40分ごろ福井港福井区を出航した。 船長の知人は、固定電話で通話をしていたところ、15時10分ごろ船長から携帯電話に2回着信があったので、約3分後に固定電話での通話を終えて船長の携帯電話に電話を掛けたものの、通じなかった。 ‘福井港福井区西方沖で流し釣りを行っていたプレジャーボートの船長’（以下「小型船舶長」という。）は、15時25分ごろ、北方5

	<p>00m付近の海面に黒い物体を認め、鯨ではないかと思った。</p> <p>小型船船長は、引き続き釣りを行った後、鯨ではないかと思っていた黒い物体を確認してから帰航しようと思ひ、至近に接近したところ、15時45分ごろ転覆している船舶であることに気付いた。</p> <p>小型船船長は、付近に人がいないか捜したところ、15時49分ごろ本船の南方200m付近にうつ伏せの状態で見えている船長を発見して118番通報を行った。</p> <p>船長は、来援した巡視船の搭載艇に収容された後、巡視船で福井港福井区の岸壁に運ばれたものの、救急隊員により死亡が確認された。</p> <p>船長の死因は、溺水の吸引に基づく窒息と検案された。</p> <p>本船は、海上保安庁の管理艇により福井港福井区にえい航された。 (付図1 事故発生場所概略図、写真1 転覆している本船、写真2 上架された本船 参照)</p>
その他の事項	<p>本船は、船外機のスロットルレバーが全速力前進の位置にあり、操縦ハンドルが右へ一杯に切られた状態であった。</p> <p>本船には、他船と衝突したような痕跡がなかった。</p> <p>船長は、発見時、救命胴衣を着用しておらず、防水型の携帯電話を握っていた。</p> <p>船長の携帯電話には、15時10分に知人宛てに最後に発信した履歴が残っていたものの、その後に着信した履歴は残っていなかった。</p> <p>船長には、持病はなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水の吸引に基づく窒息であった。</p> <p>本船は、15時10分ごろ船長が知人に架電した後、15時25分ごろ福井港福井区西方沖で転覆しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと推定される。</p> <p>船長は、転覆している本船の南方200m付近で発見されたこと、船外機のスロットルレバーが全速力前進の位置にあったこと、及び操縦ハンドルが右へ一杯に切られた状態であったことから、本船が全速力前進で右旋回している際に落水して溺死した可能性があると考えられるが、目撃者がおらず、それらの状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していなかったものと推定される。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、福井港福井区西方沖を航行中、船長が落水して溺死したことにより発生したものと推定される。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p>

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 旋回する際は、落水することのないように十分に減速すること。・ 救命胴衣等の着用を徹底すること。 |
|--|--|

付図1 事故発生場所概略図



本船発見場所
(平成31年4月29日
15時25分ごろ発見)
×
×
船長発見場所
(平成31年4月29日
15時49分ごろ発見)

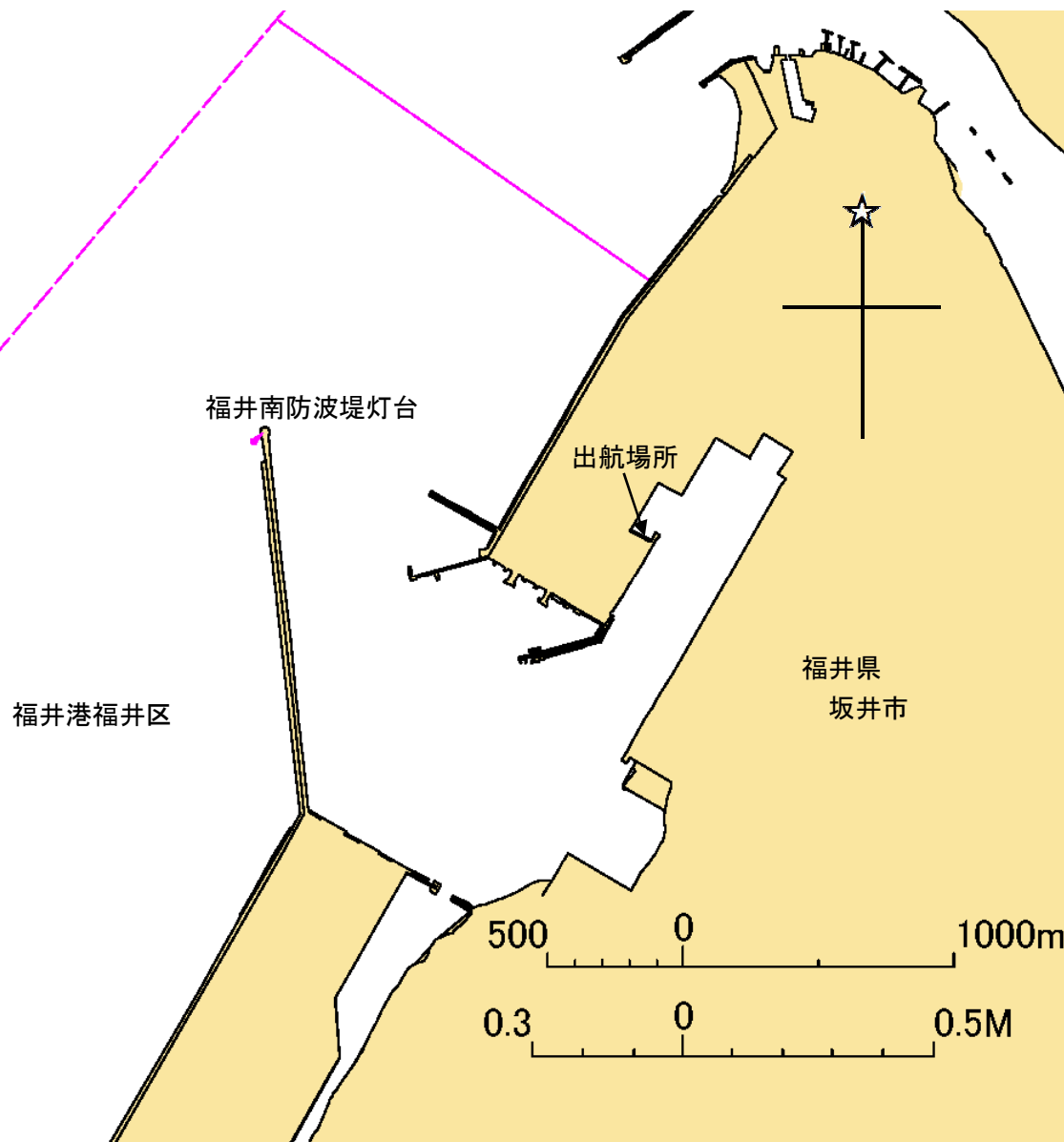


写真1 転覆している本船



写真2 上架された本船

